

議員提出議案第十一号

経口中絶薬の承認審査にあたり、女性を守るための総合的な検討を求める意見書

右の議案を文京区議会会議規則第十二条第一項の規定により提出する。

令和四年三月二十四日

提出者 文京区議会議員

- | | | | | | | |
|---------|----|------|--------|--------|--------|------|
| のぐちけんたろ | 野口 | 吉村美 | 松平雄一郎 | 宮本伸 | 宮崎こうき | 宮野ゆみ |
| 沢田けいじ | 沢田 | 小林れい | 金子てるよし | 浅川のぼる | 佐藤こういち | 山田ひろ |
| 市村やすとし | 市村 | 田中香 | 西村 | 上田ゆき子 | 浅田保雄 | 海津敦 |
| たかはまなおき | 高橋 | 萬立幹 | 関川けさ子 | 田中としかね | 海老澤敬 | 名取顕 |
| 白石英 | 白石 | 岡崎義 | 松丸昌 | 高山泰二 | 山本一仁 | 品田ひで |
| 田中和 | 田中 | 松下純 | 国府田久美 | 板倉美千代 | | |

文京区議会議長 田中 としかね 様



経口中絶薬の承認審査にあたり、女性を守るための総合的な検討を求める意見書

外科的な手術をせず飲み薬で人工妊娠中絶ができる経口中絶薬は、世界保健機関（WHO）もその安全性を認めており、広く使用されるべき薬として必須医薬品に指定されています。現在、約 80 の国及び地域で使用されていますが、これまで日本では認可されておらず、2021 年 12 月、英国の製薬会社が日本で初めて厚生労働省に承認を申請しました。

経口中絶薬を用いての中絶は、医学の進歩であり、これまで用いられてきた吸引法やそうは法と比較し、母体にかかる負担を軽減できる他、中絶のみならず流産した際にも使用できる点で優れており、市民団体の署名活動により 4 万人分余りの署名が厚生労働省に提出される等、待望する声が多くあります。経口中絶薬の承認によって女性が自分の健康を守る上での選択肢が広がることは、女性の自己決定権の尊重にもつながります。

一方で、服用により多量の出血や副作用が起こるリスクも指摘されています。また、経口中絶薬の承認により、「薬で簡単に中絶できる」という捉え方をされるようになるのではないかと懸念が生まれます。そのため、経口中絶薬の承認により望まない妊娠を防ぐための対策も必要です。承認の審査過程において、女性の健康を守るための総合的な検討を求めます。

よって、文京区議会は政府及び国会に対し、下記の事項について実現するよう強く求めます。

記

- 1 経口中絶薬の処方にあたり、女性の健康を守るための十分な説明と精神的ケアを行うこと。
- 2 処方後の健康管理も含めた医療提供体制の整備を行うこと。
- 3 望まない妊娠を防ぐための包括的性教育や相談体制をさらに強化すること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出します。

年 月 日

文京区議会議長名

内閣総理大臣

文部科学大臣

厚生労働大臣

衆議院議長

参議院議長

宛て